

普及現地情報



発信年月日:令和8年(2026年)9月25日

所 属 名:高島農産普及課

番 号:H26013

発 信 者 名:三溝、吉岡、山下

「高島ぶどうマルシェ」の開催を支援しました

8月29日に農業公園マキノピックランドで、9月5日には道の駅くつき新本陣で、高島ぶどう研究会が「高島ぶどうマルシェ」を開催し、当課は準備から開催まで支援しました。

合計約1,000人の来場者があり、生産者は「高島ぶどう」の認知度向上や消費者ニーズの把握に努められました。

令和8年3月に「高島ぶどう研究会(以下、研究会。)」の内部に共同販売や高島ぶどうのブランド化を目指して「ブランド部会(以下、部会。)」が設立されました。当課の支援の下、部会内で検討を重ねられ、今年度は研究会として「認知度の向上」や「消費者ニーズの把握」を目的に直売会(マルシェ)を開催することとなりました。

直売会は、8月29日(マキノピックランド)と9月5日(道の駅くつき新本陣)の2回開催され、当課は関係者との連絡調整や小房ブドウの栽培実証、会員のブドウ品質にかかる調査・データ収集と出荷規格の決定、報道機関への情報提供等、幅広く支援してきました。

各種報道媒体で取り上げられたこともあり、当日は開始時間前から市民を中心に多数来場され、会員の想定を超える売れ行きとなり盛況のうちに終わることができました。来場者からは、「このようなマルシェは良いね」、「毎週開催してほしい」など今後の開催を期待する前向きな意見が聞かれました。会員は地場産ブドウの需要の大きさを実感するとともに、自身の栽培したブドウが評価されたことを励みに、今後の展開に向け想いを新たにされていました。

今後も、当課は本部会の活動を通じて、高島産ブドウの品質・認知度の向上およびブランド確立に向けた取組を支援していきます。



8月29日@マキノピックランド



9月5日@道の駅くつき新本陣